



退院後2週間以内のサマリー記載

退院サマリーは、入院患者さんの病歴や、入院時の身体所見、検査所見、入院中に受けた医療内容についてまとめた記録（要約書）です。診療内容についての検証や、退院後の院内外の外来診療等では、主治医以外の患者さんに関わる全ての医療スタッフが、入院中の治療、診断情報を的確に把握するために重要な記録です。

作成期間については、一般的に、退院後の外来診察までの平均的な日数である「退院後2週間以内」が望ましいといわれています（病院機能評価機構）。

退院サマリーを一定期間内に作成することは、病院の医療の質の向上に繋がります。

当院では、2014年5月より取り組みを強化し、毎週の医局会議での結果報告。週3回の主治医への1週間超え患者の報告を継続的に行った。結果、70～80%台→95%以上を常に維持するようになりました。

2016年は、さらに2週以内完成率が向上し、99.7%(月2～0件の超過)となりました。退院後2週間を超過したサマリーについても3週目には完成しています。

退院後2週間以内のサマリー記載率

分子	内、退院患者2週間以内にサマリーを記載した患者数
分母	他院患者数
表示	月平均

